

佐藤金属工業が立地決定



立地調印後握手を交わす佐藤社長(左)と勝部市長

市内滝沢の一関東第二工業団地に、自動車車体部品製造の佐藤金属工業株式会社(本社栃木県足利市、佐藤国生代表取締役社長)の立地が決まり、昨年12月15日、土地売買契約と立地協定の調印式が行われました。同工業団地への立地は2社目で、本年7月の操業開始を予定しています。

ており、同社の立地は大変心強い」と歓迎のあいさつ。佐藤社長は、「以前から準備は進めてきた。企業は人。市長から教育はどこにも負けないと心強い言葉をいただいた」と期待を寄せていました。

同社は、自動車用金属部品の金型設計・製作、プレス、溶接、組み立て加工と一貫した生産体制を構築。東北方の自動車生産台数の増加に対応し、現地生産能力の増強を図るため、取引先の立地環境などを考慮して当市への立地を決めました。グループも含め同社4カ所目の製造拠点となる一関工場は、鉄骨一部2階建て、延べ床面積は4950平方メートル。当初は15人で操業し、地元採用を増やし3年後には30人体制にする計画です。

東北への自動車産業集積が進む中での今回の立地は、市の産業振興、発展に弾みがつくものと期待されます。



勝部市長から激励を受けた三浦君(右から2番目)、佐藤君

地域づくり

千原夜市実行委が大臣賞

千原夜市実行委員会(千田恭平実行委員長)は、個性豊かな発想を生かした地域づくりが評価され、地域づくり総務大臣表彰を受賞しました。

12月24日、千田会長ら3人が市役所本庁を訪れ勝部市長に受賞を報告。千田会長は「長く継続してきた歴代役員や会員のおかげ。30年の節目を前に、いい受賞となった。これからも頑張つて継続したい」と

喜びを語り、勝部市長は「29年間も続けられたことは素晴らしい。おめでとうございます」と祝福しました。

千原夜市は昭和57年、千原町の中心市街地の活性化を目指し本町と新町の二つの商店街が中心となって企画。現在は毎年4月から10月までの第2土曜日夜に開催。毎月さまざまなイベントを行ったり、地域の伝統行事「燈立て」を



千田実行委員長(右から2番目)らが受賞を報告

取り入れるなど、工夫を凝らして運営。これまで通算221回開催しています。

バドミントンで全国大会

昨年10月、宮城県塩釜市で行われた東北地区予選会5年生以下の部男子ダブルスで3位に輝いた清田スポーツ少年団が、第19回全国小学生バドミントン選手権大会出場の内符を手に入れた。

全国大会出場が決まった、三浦大君(清田小5年)、佐藤真心君(同小4年)らは12月21日、勝部市長に出場を報告しました。

ペアを組んで3年という三浦君、佐藤君は、「一つでも多く勝てるようにとにかく頑張る。勝つ気持ちで戦う」と大会に向けて意気込みを語りました。勝部市長は、「感謝の気持ちを大切に、頑張つてほしい」と激励しました。

同大会は、12月24日から5日間、愛媛県松山市で行われました。

子宮頸がん予防ワクチン接種 2月から公費助成を始めます

■問い合わせ先
一関保健センター ☎21-2160
または各支所保健福祉課

市は、平成23年2月から、高校1年生に相当する年齢の女子を対象に、子宮頸がん予防ワクチンの接種を無料で受けられるように、費用を全額公費負担します。

子宮頸がん予防ワクチンを接種し、子宮がん検診を受診することで、子宮頸がんによる死亡ゼロを目指しましょう。

なお、23年度(4月以降)は中学1年生から高校1年生に相当する女子を対象に行います。

助成対象

市内に住所のある高校1年生に相当する年齢の女子(平成6年4月2日〜7年4月1日生まれ)

※対象者には、予診票兼接種券・同意書・説明書・パンフレット・委託医療機関名簿を郵送します

接種回数

1人当たり3回

接種間隔

①初回接種②初回接種から1カ月後③初回接種から6カ月後(都合により間隔がずれてしまう場合は、医師にご相談ください)

接種期間

▽初回接種は、23年3月31日まで▽2回目、3回目は24年3月31日まで

助成期間

初回接種を23年3月31日までに受けた人は、2回目、3回日の助成を24年3月31日まで受けることができます。

※1 初回接種を23年3月31日までに受けない人は、接種費用の助成を受けることができないのでご注意ください。

※2 体調不良のために23年3月31日までに初回接種を受けることができなかった人は、接種期間延長申請により次年度に受けることができます。

一関保健センターまたはお住まいの地域の各支所保健福祉課にお問い合わせください。

接種に必要なもの

①予診票兼接種券②同意書(保護者が同伴しない場合)③母子健康手帳④送付済みの「子宮頸がん予防ワクチンあなたの接種スケジュール」

接種場所

子宮頸がん予防ワクチン予防接種委託医療機関(事前に予約が必要)



子宮頸がん Q&A

Q 原因は?

A 原因は、発がん性ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が持続することで、その一部が「がん」へと進行します。

Q 子宮頸がんってどんな病気なの?

A 子宮の入り口(子宮頸部)にできるがんで、若い女性でもかかりやすい病気です。発見が早いほど治療効果が期待できますが、初期ではほとんど無症状です。国内では年間約1万5千人が発症しています。

Q 予防できるの?

A 子宮頸がん予防ワクチンができました。このワクチンは、発症率の高いHPV16・18型の感染を防ぐことができます。ワクチンを接種しても、すべての発がん性HPVの感染が予防できるわけではありません。

Q 100%でないのなら、どうすればいいの?

A ワクチンを接種した後も、ワクチンで予防できないタイプの発がん性HPVによる病変を早期発見するために、子宮がん検診の受診が必要です。



発がん性HPVには15種類ほどタイプがあります。その中でもHPV16・18型は子宮頸がんから多く見つかるタイプです(約60%)。

子宮頸がんを予防するためには、ワクチン接種による感染予防と、検診による早期発見が必要です。